



2023年3月24日

各 位

会社名：出光興産株式会社
代表者名：代表取締役社長 木藤 俊一
(コード番号：5019 東証プライム市場)
問合せ先：経理財務部 IR 室長 茂木 大輔
(TEL：03 - 3213 - 9307)

豪州でバナジウム事業を推進する Vecco 社への出資を拡大 世界のエネルギー転換に対応し低炭素ビジネスの開発を推進

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木藤俊一、以下「当社」）は、豪州でバナジウム事業を推進する Vecco（ヴェッコ）社（Vecco Group Pty Ltd、本社：ブリスベン）へ826万豪ドルを追加投資しました。昨年10月に実施した初期投資と合わせて当社の出資額合計は1,316万豪ドルとなり、株式保有比率は14.7%となります。当社は本出資を通じてレアメタル事業の知見獲得を推進し、再生可能エネルギーの導入促進・低炭素社会の実現に貢献する事業開発を加速させます。

Vecco 社は、豪州クイーンズランド州でバナジウム鉱山と電解液プラントに関するプロジェクト（プロジェクト名：Debella Project、以下「プロジェクト」）を進めています。プロジェクトでは、バナジウムを含む鉱石の採掘・五酸化バナジウムへの精製・レドックスフロー電池用のバナジウム電解液生産といった地産地消のバリューチェーン構築を目指します。Vecco 社は今回の増資で、合計1,000万豪ドルを追加で調達し、資金はプロジェクトの事業化調査、環境承認、精錬・精製試験、鉱区申請費用などに充てられる予定です。また、資金の一部は最終製品の研究開発などにも充当されます。

レドックスフロー電池は、エネルギーを電解液に蓄える仕組みの電池です。電池容量の拡大が容易で、長寿命といった電力系統用の大型蓄電池に適した特性を有しており、再生可能エネルギーの導入促進に寄与すると注目されています。

プロジェクトではまず、レドックスフロー電池向けのバナジウム電解液製造プラント（年間生産量約35MWh）の本年中の稼働開始を目指します。これは豪州初となる商業規模の電解液製造施設となり、建設にはクイーンズランド州政府の推進する蓄電池産業振興策に関連した官民パートナーシッププログラム（Industry Partnership Program）の支援が決定しています。将来的にはバナジウム電解液の生産能力を年間350MWh以上に増やす予定です。なお、鉱山開発によるバナジウムの採掘開始は2024年中を目標としています。

当社は、エネルギーを安定供給する責務を果たしながらカーボンニュートラル社会の実現に貢献するため、2030年ビジョンとして「責任ある変革者」を掲げています。また、昨年11月16日に公表した中期経営計画（2023～2025年度）において、2050年ビジョン「変革をカタチに」を新たに設定しました。脱炭素化に向けたエネルギー転換の動きが世界的に加速する中、当社は約40年にわたる豪州での石炭鉱山操業で築いた事業基盤を生かし、レアメタル事業への参入と知見獲得を推進しています。化石燃料から再生可能エネルギーへの転換をリードする豪州において、日系企業として事業基盤を有することをチャンスととらえ、今後も豪州のエネルギー転換に積極的に対応していくとともに、低炭素・脱炭素事業の創出に取り組んでまいります。

【参考】2022年10月26日付けリリース
豪州でバナジウム事業を推進する Vecco 社へ出資
https://www.idemitsu.com/jp/news/2022/221026_1.html

以上